

2024.2.22締切

# ぶん文Bun Award

「ぶん文Bun賞」



# What's '「ぶん文Bun」 Award'?

椎葉村図書館「ぶん文Bun」でございます。この度は「ぶん文Bun賞」のコンテンツをご覧くださいありがとうございます。

この賞は「静けさに耐えかねた一筆」と「禁断の愛、そのはじまりの一言」の二部門で構成されるキャッチコピーコンテストです。図書館や本、秘境が育んできた伝説に想いを馳せながら「ことばをクリエイティブ」するというプロセスを通じ、多くの人にクリエイティブする楽しさときめきを感じてほしいと願っています。

ぜひ、次画像の要項や椎葉村交流拠点施設Katerieのウェブページをご覧ください、詳細をご確認のうえご応募ください。受賞者様には弊館ものづくりLab特製の素敵なお品物をお贈りいたします！

ぶんぶん しちやう  
コピーを ぼくも  
まってるよ





## お題①「静けさに耐えかねた一筆」

図書館は静かにしなくてはいけない場所。そう思っている方が多いのではないのでしょうか。しかし本を読んでいると、急に誰かに感想を話したくなることもしばしば。ふと沸き起こる熱情や、こらえ切れない面白さ...そんな「思わずメモしちゃった」一言を大募集。ちなみに椎葉村図書館「ぶん文Bun」では、声に出してもらっても、お隣の人と楽しく思いを交わしていただいても大歓迎です。（お喋りOKの図書館です！）

## お題②「禁断の愛、そのはじまりの一言」

平家落ち人の里としてその名を馳せる椎葉村。そんな椎葉村には、逃げる平家方・鶴富姫と、追う源氏方・那須大八郎宗久が、立場を越えて恋仲になるも、離れ離れになってしまう...という物語が伝わっています。今回の募集では「日本版ロミオとジュリエット」こと平家と源氏の禁断の愛が始まった伝説上の名場面を、渾身の一言で表現していただきたいと思います。

往時を偲び、今に輝かせる。クリエイティブの深淵をのぞく旅へ、行ってらっしゃいませ。



## 「ぶん文Bun賞」応募要項①

- **贈賞内容**：「静けさに耐えかねた一筆」、「禁断の愛、そのはじまりの一言」の各部門で最も優れた作品一点ずつに、①「ぶん文Bun賞」授与+②椎葉村交流拠点施設Katerieの「ものづくりLab」プロデュースのオリジナル記念品をお贈りいたします。
- **応募資格**：どなたでも！
- **審査方法**：椎葉村交流拠点施設Katerieスタッフ一同、一生懸命審査させていただきます。



よくよんでな  
ながくてごめんなさい  
だよ





## 「ぶん文Bun賞」応募要項②

- **応募方法：**
  - 椎葉村交流拠点施設Katerieウェブページ掲載のフォームからご応募ください
  - 応募できるのは一部門につき5作品までとします（最大、二部門10作品まで）
  - 重複しての応募送信は審査対象外とします
  - 応募作品は自作で過去に他のコンテスト等に出品したことがないものとしてください
  - すべての応募作品について、後日椎葉村図書館「ぶん文Bun」関連の各種広報媒体等に掲載させていただくことがあります。なお、一部改変や二次創作の展開が見込まれる場合は事前に協議を行うものとします
- **応募期限：**2024年2月22日（23：59まで）
- **結果発表：**2024年2月29日（ウェブ上実施）

しめきりは  
にがつ にじゅうににち  
ぶんぶんぶんのひ  
って おぼえてな





## 「ぶん文Bun賞」をつうじて

2023年2月22日に発表した「ぶん文Bun賞」へは、3,071点ものご応募をいただきました。多くの皆様にご関心をお寄せいただきありがとうございます。

コピーを愛する人、物語を愛する人、図書館を愛する人。どなた様もご応募をお待ちしております。

椎葉村という日本三大秘境の地に存在する椎葉村図書館「ぶん文Bun」のことを知っていただき、またその土地が有するルーツとなる「鶴富姫伝説」の由来にこめられたロマンを感じていただきたい...そんな思いで「ぶん文Bun賞2024」は企画されました。

この度椎葉村にお寄せいただきました御関心に感謝いたします。すべてのクリエイティブに幸あれ！！

*We are waiting for your  
Creativity.*